

# Novell NetWare® 6

[www.novell.com](http://www.novell.com)

概要とインストール



**Novell®**

## 法的事項

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本製品を米国またはカナダから輸出する際には、事前に米国商務省の輸出許可が必要となります。

Copyright © 1999-2001 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を無断で複製・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国特許番号 5,157,663; 5,349,642; 5,455,932; 5,553,139; 5,553,143; 5,572,528; 5,594,863; 5,608,903; 5,633,931; 5,652,859; 5,671,414; 5,677,851; 5,692,129; 5,701,459; 5,717,912; 5,758,069; 5,758,344; 5,781,724; 5,781,724; 5,781,733; 5,784,560; 5,787,439; 5,818,936; 5,828,882; 5,832,274; 5,832,275; 5,832,483; 5,832,487; 5,850,565; 5,859,978; 5,870,561; 5,870,739; 5,873,079; 5,878,415; 5,878,434; 5,884,304; 5,893,116; 5,893,118; 5,903,650; 5,903,720; 5,905,860; 5,910,803; 5,913,025; 5,913,209; 5,915,253; 5,925,108; 5,933,503; 5,933,826; 5,946,002; 5,946,467; 5,950,198; 5,956,718; 5,956,745; 5,964,872; 5,974,474; 5,983,223; 5,983,234; 5,987,471; 5,991,771; 5,991,810; 6,002,398; 6,014,667; 6,015,132; 6,016,499; 6,029,247; 6,047,289; 6,052,724; 6,061,743; 6,065,017; 6,094,672; 6,098,090; 6,105,062; 6,105,132; 6,115,039; 6,119,122; 6,144,959; 6,151,688; 6,157,925; 6,167,393; 6,173,289; 6,192,365; 6,216,123; 6,219,652; 6,229,809. 特許未決定。

Novell, Inc.  
1800 South Novell Place  
Provo, UT 84606  
U.S.A.

[www.novell.com](http://www.novell.com)

概要とインストール  
2001年10月

オンラインドキュメント：本製品とその他の Novell 製品のオンラインマニュアルにアクセスする場合や、アップデート版を入手する場合は、<http://www.novell.com/documentation/japanese> を参照してください。

## Novell の商標

ConsoleOne は、米国 Novell, Inc. の商標です。

eDirectory は、米国 Novell, Inc. の商標です。

GroupWise は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

NetWare は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell Authorized Reseller は、米国 Novell, Inc. のサービスマークです。

Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Novell Cluster Services は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Novell Directory Services および NDS は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell Storage Services は、米国 Novell, Inc. の商標です。

## サードパーティの商標

サードパーティの商標は、所有者であるそれぞれの会社に所属します。



# 目次

1	概要	7
2	インストールと設定	9
	NetWare WebAccess のインストール	9
	システム要件	10
	NetWare 6 のインストール時に NetWare WebAccess をインストールする	10
	NetWare 6 のインストール後に NetWare WebAccess をインストールする	11
	NetWare WebAccess のガジェット	12
	NetWare WebAccess のガジェットの説明	12
	ガジェットを設定する	13
	ガジェットのその他の設定	14
	NetWare WebAccess を起動して使用する	18



# 1

## 概要

NetWare® WebAccess は、ネットワーク管理者がすでに持っているスキルで簡単に、素早くユーザ向けのネットワークリソースへの Web アクセスをセットアップできる、NetWare 6 の 1 つの機能です。ほとんどのネットワーク管理者は、NetWare WebAccess をセットアップし設定するために新たにトレーニングを積む必要はありません。

NetWare® WebAccess は、Novell® Portal Services 技術に基づいた Java サーブレットまたは Java\* アプリケーションです。NetWare WebAccess は、Novell iChain を併用すると NetWare または VPN クライアントを使用しなくても、ネットワークユーザが任意のコンピュータから最も重要なリソースにアクセスできるようになります。

NetWare WebAccess には、次のような特徴があります。

- ◆ ユーザが、よく使用するネットワークリソースに単一の Web サイトからアクセスできるようにします。
- ◆ 複数のデバイスからネットワークアクセスをする必要のあるモバイルワークを、管理者がサポートできます。
- ◆ 複雑な Web 開発を行わなくても、すぐに使用できます。
- ◆ NetWare または VPN クライアントソフトウェアは必要ありません。
- ◆ 次のような、重要なネットワークリソースにアクセスするためのガジェットがいくつかあります。
  - ◆ NetStorage ( ファイルアクセス )
  - ◆ Novell iPrint
  - ◆ 電子メールと予定管理 (GroupWise®、Exchange、Lotus\* Notes\*、NIMS、POP3、および IMAP)
  - ◆ Novell eDirectory™ に保存されている電話番号やその他の情報を簡単に確認できるアドレス帳
  - ◆ パスワードを変更するガジェット

- ◆ 企業が NetWare WebAccess サイトに自社のロゴを追加できるように、カスタマイズできる WebAccess ページが用意されています。
- ◆ 完全にクラスタ化に対応しています。つまり、NetWare WebAccess は Novell Cluster Services™ と連携動作するように構築されており、週 7 日、1 日 24 時間利用できるように実行できます。
- ◆ ガジェットは、Java ベースの ConsoleOne™ ユーティリティを使用して簡単に一元管理できます。

# 2

## インストールと設定

ここでは、NetWare 6 のインストールの実行中またはその後に NetWare WebAccess をインストールする方法、NetWare® WebAccess のガジェットを設定する方法、NetWare WebAccess の起動と使用の方法について説明します。

### NetWare WebAccess のインストール

NetWare WebAccess は、NetWare 6 のインストール時にオプションのコンポーネントとしてインストールするか、または NetWare 6 のインストール後にインストールできます。通常は、ネットワーク上のすべての NetWare 6 サーバに NetWare WebAccess をインストールする必要はありません。ほとんどのネットワークの場合、eDirectory™ ツリーごとに 1 つのサーバにのみ NetWare WebAccess をインストールするだけで済みます。これは、組織の規模や組織の要求によって異なることがあります。

NetWare WebAccess のインストールの過程では、次の処理が自動的に行われます。

- ◆ 指定したコンテキストの eDirectory に NetWare WebAccess コンテナを作成します。
- ◆ NetWare WebAccess の設定と実行に必要なソフトウェアをインストールします。
- ◆ あらかじめ設定されたガジェットをインストールし、そのガジェットの eDirectory オブジェクトを NetWare WebAccess コンテナに作成します。インストール時に、有効にするガジェットを選択し、各ガジェットへの URL を指定するためのオプションが表示されます。

## システム要件

NetWare 6 の要件を満たして、NetWare 6 をインストール済みの場合は、NetWare WebAccess のシステム要件のほぼすべてを満たしています。

次のリストは、NetWare WebAccess をインストールし、実行するためのシステム要件です。

- ❑ NetWare WebAccess のインストール先の NDS<sup>®</sup> ツリー内に、少なくとも 1 台の NetWare 6 サーバ
- ❑ Netscape\* Navigator\* 4.7 またはそれ以降、あるいは Internet Explorer\* 5.0 またはそれ以降のブラウザ

## NetWare 6 のインストール時に NetWare WebAccess をインストールする

NetWare 6 のインストール時に NetWare WebAccess をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 NetWare 6 のインストールを開始して、高速インストールまたはカスタムインストールの選択を求める画面が表示されるまで、インストールを続行します。

- 2 カスタムインストールオプションを選択します。

新しいサーバをインストールするオプションか、または既存のサーバをアップグレードするオプションが表示されます。NetWare WebAccess は、どちらのオプションでもインストールできます。

NetWare 6 のインストール時に NetWare WebAccess をインストールするには、カスタムインストールオプションを選択する必要があります。高速インストール時に NetWare WebAccess をインストールすることはできません。

NetWare 6 と一緒にインストールできるコンポーネントがリストされた画面が表示されるまで、インストールを続行します。

- 3 NetWare 6 と一緒にインストールする他のコンポーネントに加えて、[NetWare WebAccess Component] チェックボックスをオンにして、[Next] をクリックします。

[NetWare WebAccess Setup] 画面が表示されるまで続行します。

- 4 NetWare WebAccess オブジェクトの作成先にする eDirectory コンテキストを指定し、[Next] をクリックします。

コンテキストを参照して選択することもできます。

- 5 各ガジェットタイプの横のチェックボックスをオンまたはオフにして、今すぐ設定するガジェットと、後で設定するガジェットを選択します。次に、[Next] をクリックして、NetWare 6 の残りのインストール作業を続行します。

NetWare WebAccess のガジェットは、すべて NetWare WebAccess のインストール時に自動的にインストールされます。この画面では、そのガジェットを直ちに有効化して設定するのか、または後で有効化して設定するのかを選択できます。デフォルトでは、後でガジェットを有効にして設定する設定になっています。これは、新しいサーバのインストール時には、目的のガジェットがアクセスするアプリケーションがまだインストールされていない可能性があるためです。今すぐガジェットをセットアップすることを選択した場合は、アプリケーションごとに、ガジェットをリンクする場所 (URL) を指定する必要があります。

メールガジェットを直ちに有効化して設定するには、電子メールタイプを指定する必要があります。GroupWise<sup>®</sup>、POP/IMAP、Exchange、Notes、または NIMS の中から選択できます。

後でガジェットを有効にして設定することを選択した場合は、NetWare 6 のインストールが完了した後に **13 ページの「ガジェットを設定する」** を参照してください。

## NetWare 6 のインストール後に NetWare WebAccess をインストールする

NetWare 6 のインストール時に NetWare WebAccess をインストールしなかった場合でも、次の手順を実行すると後でインストールすることができます。

- 1 NetWare 6 製品の CD を NetWare 6 サーバに挿入します。  
NetWare 6 製品の CD にアクセスするために、サーバで CDROM.NLM をロードする必要があります。
- 2 NetWare 6 のコンソール GUI で、[Novell] メニューの [Install] を選択します。
- 3 [Add] をクリックし、NetWare 6 製品の CD のルートを参照します。
- 4 PRODUCT.NI ファイルを選択し、[OK] をクリックします。
- 5 [NetWare WebAccess Component] チェックボックスをオンにし、その他のすべてのコンポーネントまたは製品については、特にインストールする必要がなければオフにします。
- 6 **11 ページの手順4** および **手順5** を続行して、NetWare WebAccess のインストールを完了します。

# NetWare WebAccess のガジェット

ガジェットは、[NetWare WebAccess] ページから特定のコンテンツへのウィンドウまたはリンクを表します。[NetWare WebAccess] ページでガジェットをクリックすると、そのガジェットによって表されるアプリケーションまたはサービスに対してあらかじめ設定されている Web ページにリンクします。

たとえば、NetWare WebAccess には、Novell® NetStorage 用のガジェットがあります。NetStorage ガジェットをクリックすると、NetStorage サービスに接続されます。Novell NetStorage では、ファイルストレージにインターネット経由で簡単にアクセスすることができ、ユーザはインターネット上の任意の場所から安全にファイルにアクセスできます。ユーザのワークステーションでダウンロードまたはインストールするものではありません。

NetWare WebAccess のガジェットには、アプリケーションまたはサービスへのシングルサインオンのための手段が用意されています。つまり、ユーザが eDirectory で認証を受け、NetWare WebAccess を起動した場合は、NetWare WebAccess を通じてアクセスするアプリケーションまたはサービスの多くに対して、アクセスするたびにユーザ名を提供する必要がなくなります。

## NetWare WebAccess のガジェットの説明

次のガジェットは、あらかじめ設定されており、NetWare WebAccess に付属しています。

表 1 NetWare WebAccess のガジェットの説明

ガジェット名	説明
NetStorage	Novell NetStorage サービスにアクセスできます。NetStorage では、Novell ネットワーク上のファイルストレージに対してインターネット経由で簡単にアクセスできます。
Exchange	Microsoft* Exchange のカレンダー機能とメッセージング機能にアクセスできます。
GroupWise WebAccess	Novell GroupWise のカレンダー機能とメッセージング機能にアクセスできます。
NIMS	Novell Internet Messaging にアクセスできます。
Notes	Lotus Notes のカレンダー機能とメッセージング機能にアクセスできます。
Web Mail	POP または IMAP に準拠したメールシステムにアクセスできます。

ガジェット名	説明
Address Book	eDirectory から電話番号やその他のユーザ情報にアクセスするための簡略化された画面を提供します。
Printing	インターネット印刷 (Novell iPrint) にアクセスできます。
Change Password	ユーザがパスワードを変更できるページへのリンクです。

## ガジェットを設定する

NetWare WebAccess では、含まれているガジェットに対して簡単な設定変更しかできません。NetWare WebAccess でサポートされているガジェットの設定変更は、サービスまたはアプリケーションへの URL の編集、およびメインの [NetWare WebAccess] Web ページに対するガジェットの追加と削除だけです。他のガジェットが必要な場合、またはガジェットを作成またはカスタマイズする機能が必要な場合は、Novell Portal Services を購入する必要があります。

ガジェットは、eDirectory ではガジェットオブジェクトとして表され、NetWare WebAccess のインストール時に作成されます。ConsoleOne™ でガジェットの設定を変更する必要があります。

ガジェットの設定を変更するには、次を実行します。

**1** ConsoleOne で、NetWare WebAccess オブジェクトを参照し、選択します。

**2** ConsoleOne ウィンドウの右側で、WebAccess\_portalgroup オブジェクトを右クリックし、[Properties] を選択します。

[Property] ページが表示され、NetWare WebAccess の各ガジェットの現在の設定が表示されます。

**3** [Configure] ボタンをクリックして、[Next] をクリックします。

NetWare WebAccess のガジェットの設定を順に行うためのウィザードが起動されます。

また、[Clear Configuration] ボタンをクリックして、各ガジェットの現在の設定をクリアすることもできます。

**4** ガジェットごとにチェックボックスをオンまたはオフにして、それぞれの NetWare WebAccess サービスを有効または無効にします。

チェックボックスがオフの場合、そのガジェットはメインの [NetWare WebAccess] ページに表示されないため、ユーザが NetWare WebAccess を通じてそのサービスにアクセスすることはありません。

- 5 ウィザードの指示に従って、**手順 4** で選択した各サービスに対して、URL やその他の必要な設定情報を指定します。

各ガジェットのガジェット URL やその他の必要な設定情報の詳細については、**14 ページの「ガジェットのその他の設定」**を参照してください。

Address Book ガジェットおよび Change Password ガジェットの、URL またはその他の設定は必要ありません。

- 6 [Summary] 画面で情報を確認し、[Finish] をクリックしてガジェットの設定変更を保存します。

また、[Back] ボタンをクリックして、ウィザードの前の手順に戻り、各ガジェットの設定を変更することもできます。

- 7 NetWare 6 サーバのコンソールで「**tomcat33 -stop**」と入力して Tomcat サブレットエンジンを停止し、「**tomcat33**」と入力して再起動します。

ガジェットの設定の変更が有効になるには、NetWare WebAccess が稼働中の NetWare 6 サーバで Tomcat サブレットエンジンをいったん停止し、再起動する必要があります。

Tomcat サブレットエンジンの停止して再起動すると、対象サーバで Tomcat サブレットエンジンを使用中の Web サービスが中断される可能性があります。

## ガジェットのその他の設定

NetWare WebAccess のガジェットが適切に機能するには、正しく設定されている必要があります。NetWare WebAccess の大部分のガジェットでは URL を正しく設定する必要があり、URL の他にもいくつか設定が必要なガジェットも少しあります。

### Home Page ガジェットの設定

ユーザがログインし、NetWare WebAccess にアクセスするときに表示されるホームページの URL を指定します。このページは、NetWare WebAccess の URL にリンクしたときに、ガジェットと共に表示されます。会社のロゴが入った独自のカスタムページを作成したり、NetWare WebAccess で提供されるホームページを使用することができます。NetWare WebAccess のデフォルトホームページは home.htm であり、SYS:WEBAPPS¥WEBACCESS¥HTML にあります。

## Novell iPrint ガジェットの設定

Novell iPrint アクセスページの URL を指定します。サーバの IP アドレスまたは DNS 名、および IPP.HTM ファイルのパスでもかまいません。

このガジェットを設定する前に、NDPS と Novell iPrint をインストールし、設定しておく必要があります。Novell iPrint については、『[iPrint 管理ガイド](#)』を参照してください。

## NetStorage ガジェットの設定

Novell NetStorage にアクセスするための URL を指定します。この URL は、NetStorage がインストールされているサーバの IP アドレスまたは DNS 名であるか、あるいは NetWare 6 のインストール時に Apache ベースのサービスに対して選択した IP アドレスです。NetWare 6 のインストール時に Apache ベースのサービスに対してポート 80 以外のポート番号を指定した場合は、そのポート番号も指定する必要があります。

たとえば、NetStorage サーバの IP アドレスが「127.0.0.1」で、ポート番号が「51080」である場合、フィールドに「**127.0.0.1:51080**」を追加します。

NetStorage のパスは oneNet/NetStorage です。このパスは変更できず、NetWare WebAccess によって NetStorage の URL に自動的に追加されます。

[Default Username] フィールドには、2つのオプションがあります。「%cn%」を入力するか、または何も入力しないでおくことができます。

%cn% オプションを使用すると、NetWare WebAccess がユーザの eDirectory ユーザ名を取得し、NetStorage ログイン画面のユーザ名フィールドに自動的に追加します。これにより、ユーザはユーザ名を入力する必要がなくなりますが、パスワードの入力は求められます。

フィールドに何も入力しない場合、ユーザはユーザ名とパスワードの両方の入力を求められます。

このガジェットを設定する前に、NetStorage をインストールし、設定しておく必要があります。NetStorage の詳細については、Novell NetStorage の『[NetStorage 概要とインストール](#)』を参照してください。

## GroupWise WebAccess のガジェットの設定

GroupWise WebAccess の URL を指定します。URL は、`http://IP_Address` または `DNS Name/servlet/webacc` のようになります。GroupWise WebAccess が稼働している Web サーバの IP アドレスまたは DNS 名に置き換えます。

[Default Username] フィールドには、2つのオプションがあります。「`%cn%`」を入力するか、または何も入力しないでおくことができます。

ユーザの GroupWise ユーザ名が eDirectory ユーザ名と同じ場合、`%cn%` オプションは便利です。`%cn%` を使用すると、NetWare WebAccess がユーザの eDirectory ユーザ名を取得し、GroupWise WebAccess のユーザ名フィールドに自動的に追加します。これにより、ユーザは GroupWise ユーザ名を入力する必要がなくなりますが、パスワードの入力は求められます。

フィールドに何も入力しない場合、ユーザはユーザ名とパスワードの両方の入力を求められます。ユーザの GroupWise ユーザ名と eDirectory ユーザ名が異なる場合は、このオプションを使用します。

NetWare WebAccess が GroupWise WebAccess と共に適切に機能するには、いくつかその他の設定が必要になります。ネットワークに NetWare WebAccess と GroupWise WebAccess の両方をインストールした後に、次を実行します。

- 1 NetWare WebAccess をインストールしたサーバの `SYS:WEBAPPS¥WEBACCESS¥TEMPLATES` フォルダから、すべての NetWare WebAccess テンプレート (.HTT ファイル) を、GroupWise WebAccess が稼働中のサーバ上のテンプレートがインストールされているディレクトリにコピーします。

GroupWise WebAccess で使用されるアプリケーションサーバが Tomcat である場合、ファイルのコピー先のパスは、`SYS:TOMCAT¥33¥WEBAPPS¥ROOT¥WEB-INF¥CLASSES¥COM¥NOVELL¥WEBACCESS¥TEMPLATES¥TEMPLATES¥FRAMES` です。

- 2 GroupWise WebAccess が稼働しているサーバで、`WEBACC.CFG` ファイルを編集して、`Security.UseClientIP.enable=true` 行を `Security.UseClientIP.enable=false` と置き換えます。

通常、`WEBACC.CFG` ファイルは、`SYS:NOVELL¥WEBACCESS` ディレクトリにあります。

GroupWise WebAccess のインストールと設定の詳細については、[Novell マニュアルの Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/japanese\)](http://www.novell.com/documentation/japanese) を参照してください。

## NIMS ガジェットの設定

NIMS サーバの URL を指定します。この URL は、NIMS をインストールし、設定したときに作成されています。

[Default Username] フィールドには、2つのオプションがあります。「%cn%」を入力するか、または何も入力しないでおくことができます。

ユーザの NIMS ユーザ名が eDirectory ユーザ名と同じ場合、%cn% オプションは便利です。%cn% を使用すると、NetWare WebAccess がユーザの eDirectory ユーザ名を取得し、NIMS のユーザ名フィールドに自動的に追加します。これにより、ユーザは NIMS ユーザ名を入力する必要がなくなりますが、パスワードの入力は求められます。

フィールドに何も入力しない場合、ユーザはユーザ名とパスワードの両方の入力を求められます。ユーザの NIMS ユーザ名と eDirectory ユーザ名が異なる場合は、何も入力しないようにします。

NIMS のインストールと設定の詳細については、[Novell マニュアルの Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/japanese\)](http://www.novell.com/documentation/japanese) を参照してください。

## Web ベースの電子メールガジェットの設定

IMAP サーバまたは POP3 サーバのセットアップ時に割り当てた DNS 名または IP アドレスを指定します。また、SMTP サーバの DNS 名または IP アドレスを指定し、Web ベースの電子メールシステムで IMAP プロトコルと POP3 プロトコルのどちらを使用するように設定されているかを指定します。

[Default Username] フィールドには、2つのオプションがあります。「%cn%」を入力するか、または何も入力しないでおくことができます。

ユーザの Web ベースの電子メールのユーザ名が eDirectory ユーザ名と同じ場合、%cn% オプションは便利です。%cn% を使用すると、NetWare WebAccess がユーザの eDirectory ユーザ名を取得し、電子メールのログイン画面のユーザ名フィールドに自動的に追加します。これにより、ユーザは電子メールのユーザ名を入力する必要がなくなりますが、パスワードの入力は求められます。

フィールドに何も入力しない場合、ユーザはユーザ名とパスワードの両方の入力を求められます。ユーザの電子メールのユーザ名と eDirectory ユーザ名が異なる場合は、何も入力しないようにします。

Web ベースの電子メールのインストールと設定の詳細については、使用している電子メールシステムのマニュアルを参照してください。

## Lotus Notes ガジェットの設定

Notes サーバにアクセスするための URL を指定します。Notes へのアクセスに使用するプロトコル (HTTPS での Notes へのアクセスはセキュリティで保護されますが、HTTP では保護されません)、および Notes の認証タイプ (基本またはフォーム) を指定する必要もあります。

[Default Username] フィールドには、2つのオプションがあります。「%cn%」を入力するか、または何も入力しないでおくことができます。

ユーザの Notes のユーザ名が eDirectory ユーザ名と同じ場合、%cn% オプションは便利です。%cn% を使用すると、NetWare WebAccess がユーザの eDirectory ユーザ名を取得し、Notes のユーザ名フィールドに自動的に追加します。これにより、ユーザは Notes のユーザ名を入力する必要がなくなりますが、パスワードの入力は求められます。

フィールドに何も入力しない場合、ユーザはユーザ名とパスワードの両方の入力を求められます。ユーザの Notes のユーザ名と eDirectory ユーザ名が異なる場合は、何も入力しないようにします。

Notes のインストールと設定の詳細については、Notes のマニュアルを参照してください。

## Microsoft Exchange ガジェットの設定

Exchange サーバにアクセスするための URL を指定します。

[Default Username] フィールドには、2つのオプションがあります。「%cn%」を入力するか、または何も入力しないでおくことができます。

ユーザの Exchange ユーザ名が eDirectory ユーザ名と同じ場合、%cn% オプションは便利です。%cn% を使用すると、NetWare WebAccess がユーザの eDirectory ユーザ名を取得し、Exchange のユーザ名フィールドに自動的に追加します。これにより、ユーザは Exchange のユーザ名を入力する必要がなくなりますが、パスワードの入力は求められます。

フィールドに何も入力しない場合、ユーザはユーザ名とパスワードの両方の入力を求められます。ユーザの Exchange ユーザ名と eDirectory ユーザ名が異なる場合は、何も入力しないようにします。

Exchange のインストールと設定の詳細については、Exchange のマニュアルを参照してください。

## NetWare WebAccess を起動して使用する

NetWare WebAccess をインストールすると、NetWare 6 サーバの起動時に NetWare WebAccess も自動的に起動します。NetWare WebAccess にアクセスできないか、または実行されていない場合は、NetWare WebAccess がインストールされた NetWare 6 サーバを再起動します。

NetWare WebAccess にアクセスして使用するには、次を実行します。

- 1 ブラウザを起動し、NetWare WebAccess の URL を入力します。

URL は、`http://server_ip_address/webaccess/` のようになります。  
server\_ip\_address は、NetWare WebAccess をインストールした NetWare 6 サーバの IP アドレスか、または NetWare 6 のインストール時に Apache ベースのサービスに対して選択した IP アドレスに置き換えます。

NetWare 6 のインストール時に Apache ベースのサービスに対してポート 80 以外のポート番号を指定した場合は、URL と共にそのポート番号も指定する必要があります。

たとえば、NetWare WebAccess の IP アドレスが「127.1.1.1」で、ポート番号が「51080」である場合、「**127.1.1.1:51080/webaccess/**」を指定します。

- 2 ユーザ名およびパスワードを入力します。

NetWare WebAccess では、eDirectory のユーザ名とパスワードが使用されるので、別のユーザ名やパスワードを思い出したり、使用したりする必要はありません。

- 3 ガジェットの内いずれかをクリックして、そのガジェットで表されるサービスまたはアプリケーションにアクセスします。

